# 学校だより

みんなを大事に　自分から自分で

金沢市立森本小学校
令和８年９月２４日

## 森本小学校の学力の現在地とは　～子どもたちの可能性を広げる２つの学力～

### 伸びてきた子どもたちの力と基礎の定着



４月に行われた学力調査では、４ 年生の ２ 教科（国語・算数）と ６ 年生の ５ 教科（国語・算数・社会・理科・英語）をあわせた全 ７ 教科すべてで、石川県の平均を上回りました。特に今の ６ 年生は、４ 年生の頃と比べると国語・算数ともに県平均との差が １０ ポイント以上も上昇し、大きな伸びを見せています。

昨年度課題だった基礎学力の部分では、平均を下回る層が減り、平均を上回る層が増えるという変化が表れています。学校で年６回取り組んでいる「ぐんぐんテスト」や「もりもり漢字テスト」でのコツコツとした反復練習が、確かな実りとなっています。

さらに、体力テストの結果にも向上の兆しが見られるほか、「ジュニア金沢検定」の合格者が昨年の ４ 倍に増えるなど、多方面で子どもたちが意欲的に力を発揮しています

### テストでは測れない力（非認知能力）にも注目

本校では、学力を「テストで測れる力（認知能力）」と、「テストでは測れない力（非認知能力）」の ２ つの軸で捉えています。テストの点数という目に見える力が順調に伸びている今、私たちが特に注目し大切に育てたいのが「非認知能力」です。 これは「最後までやり抜く」「友達と仲良くする」「自分を信じる」といった、数値には表れにくい心や行動の力のことです。幼い頃にこの力をしっかり育むことが、将来大人になってからの仕事や人生の幸せに大きくつながると言われています。

実際の学校生活でも「最後まで諦めずにやりきる姿」がたくさん見られるようになってきました。「友達と一緒に考えることで、分かった！新しい方法を見つけられた！」と実感している子の割合は県平均より高く、共に高め合う関係が育っています

### 認め合い、ともに高め合う学校を目指して

その一方で、課題も分かってきました。学習へのワクワクした気持ちが長続きしない場面が見られる点や、「先生に認められている」と実感できている子の割合が県平均を下回っている点です。 そこで ２ 学期は、教職員が一丸となって次の ２ つのことに重点的に取り組みます。

1. **「やってみたい！」を引き出し持続させる授業の工夫**：意欲的に学び続けられる経験や学びの深め方を工夫します。
2. **「自分は認められている」と実感できる指導の工夫**：一人ひとりの努力や貢献を見逃さず、「役に立っている」と感じられる肯定的な声かけ（自己有用感を高める指導）を徹底します。

子どもたちが「自分を信じる力」や「やり抜く力」を伸ばしていくためには、ご家庭での温かい応援が何よりの励みになります。お子様が最後までがんばった時や、小さな成長を見せてくれた時には、ぜひ「よくがんばったね」と認めてあげてください。 これからも学校とご家庭・地域が手を取り合い、子どもたちの可能性を支えてまいります。２ 学期も変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。



９月２５日（金）の授業参観では、がんばっている子どもの姿を通じて学校の取り組みをご理解いただければ幸いです。